

1 / 13

二. 時, 三. ~において(𐵇²ya と同じ)」と主に三つの意味を持つとする³. 一. はさらに「1. 上, 下ではない. 2. 時間を表す. 3. 出す(料理を出す)(動). 4. 上に向く(天に向いて)」に下位分類される. 韓の指摘は本研究とも関わる重要なものであるが, 「一の2」の「時」と「二」の「時」がどのように区別されるのか用例からは分かりにくい点, 「三」の例文「天に道あり」は「天の上に道あり」のように, 「~において」というより「~の上」つまり「一」の解釈で良い点, など問題点が散見される. この研究ノートで掘り下げて検討する必要がある.

𐵇¹tshjaa⁴の同音字は, 『文海』によれば3字あることが分かる. 『夏漢字典』番号と同書による意味を示す.

李 0101 𐵇「強く 硬い(形容詞)」, 李 0104 𐵇「1. つまむ(動). 2. 助数詞」, 李 0095 𐵇「淫乱(となる動)」.

これらから二つのことが分かる. 一つは同音の語に「上」に類似する意味のものが無いこと, 一つは冠の横線「一」+左下の「干」の部分が音符「¹tshjaa」として機能するという点である.

西夏語の「空間詞」の研究については, 1979年の Kepping の考察に遡る. Kepping (1979: 223)は, 「西夏語の𐵇²-u(内), 𐵇¹tshjaa(上), 𐵇²khju(下), 𐵇²gu(中), 𐵇²ywə²rjir(前), 𐵇²rjir(前), 𐵇¹niow(外)などの空間を表す単語は名詞に属する. そして, これらの語彙は名詞の後に付いて後置詞として使われる」と指摘した. これだけでなく, Kepping は西夏語後置詞の分類に言及し, 「名詞の後にしか付けない後置詞」と「多種類の品詞の後に付ける後置詞」に分けられると考えた. 前者は𐵇²do, 𐵇¹-jij など修飾語の機能を持つ標識で, 後者は𐵇¹tshjaa, 𐵇²kha などを含むとする⁵. 林 (1993)は Kepping の後置詞についての分類に賛同し, 更に, 「𐵇¹tshjaa と𐵇²ya は置き換えて使うことができるので, この点も𐵇¹tshjaa の文法化の証拠となっている」と指摘した⁶. つまり, 林は品詞としての𐵇¹tshjaa の文法化の傾向を認めている. 荒川は, 荒川 (2010: 157-158, 163-164)に基づき, 荒川 (2014: 162-163, 168-169)に, この文法要素に関する見解を述べた. 西田 (1989) などでは格標識にされていないものの, これを格標識(場所格, 上格)とみなした. 本稿にも関係する「時間を表す名詞に後続する例」を1例挙げている(荒川 2010: 164)ので後述する. 一方, 聶 (2021)の研究によると, 西夏語の𐵇¹tshjaa は「~の上に」を表すだけでなく, 時間を表す小節の句末に出現し, 「ちょうどその時」という意味で, 漢語の「時」と同じ意味であるとしている⁷. 聶の例文は以下のものである.

- (01) 𐵇¹tji 𐵇¹rjir 𐵇¹tshjaa 𐵇¹tsjī 𐵇¹ljij 𐵇¹kow 𐵇¹-jij 𐵇¹ya 𐵇²zow 𐵇²dja 𐵇²we
 戻る 得る 時 晋 靈 公 の 門 衛 P1 なる
 戻って帰る時, 晋靈公の門衛になっていた. 『類林』卷七 (聶 2021: 371)

確かに, 西夏文文献を読むと, 𐵇¹tshjaa で「時間」を表す例文が頻出する. さらに, 本稿では「因果関係」まで表わしていることを指摘したい. 本稿は西夏文資料に基づいて, 𐵇¹tshjaa の文法化の過

³ 韓 (2021: 1 卷 18) 参照. もう一つ「四, 大」とする意義があるものの, これは「大斃」の例だけで, 熟語の一部とみなすべきだろう.

⁴ 本稿では西夏語の発音表記は『夏漢字典』に従う. 肩文字の「1」は「平声」, 「2」は「上声」, 「?」は声調不明」という声調を示す. 本稿の例文では西夏文字, その推定音, 語ごとの意味については『夏漢字典』(李 1997, 2008)に従う. ただし, 韻母の前に位置する点(・)は声門音の初頭子音を示す. なお, 『夏漢字典』では当該の文字の発音は ¹tshja と「主母音に下線」であったが, 『西夏文詞典』などでは ¹tshjaa と表記が改められている. 荒川による従来の表記では ¹chya: であるが「声母は正歯音類」「声調は平声第 21 韻」について上記と同一の見解であるため, 本稿では ¹tshjaa で表記する.

⁵ Kepping (1979: 223-229) 参照.

⁶ 林 (1993: 677-711) 参照.

⁷ 聶 (2021: 371) 参照.

程について考察する。

2. 𐵄¹tshjaa の様々な機能について

2.1 空間

𐵄¹tshjaa の基本的な用法は「上」を示すことである。

まず、空間として「上」の意味を表す𐵄¹tshjaa の用例を一例のみ挙げる。

(02)	𐵄	𐵄	𐵄	𐵄	𐵄	𐵄
	¹ gur	¹ phiw	¹ ko	¹ tshjaa	² ju	² dzuu ² we
	牛	白い	車	上	いつも	座る なる
	いつも白い牛の牛車の上に座る。『灯要』(32: 6) ⁸					

この文は、西夏文『灯要』の一節で、大師が法達に説教し、「ある」と「ない」に執着しないため、いつも白い牛の牛車の上に座ることができると説く。ここでは、「仏法」を「白い牛の牛車」にたとえている。ここの𐵄¹tshjaa は、空間的な「上」であるのが明らかである。形式的には名詞の後に来る。

西夏語において𐵄¹tshjaa のほか、「上」という意味を持つ西夏文字が三つあり、それぞれ「𐵄²phju」「𐵄¹bji」「𐵄²nwa」である。しかし、その意味や使い方について細かく分析すると、𐵄¹tshjaa とは異なる。𐵄²phju は方位詞「上」として使われると、「高い」という意味を持ち、即ち地位・位置が高いことを意味する。𐵄¹bji は元々の意味は「高い」で、「上」という意味も具えているが、方位詞としては使われず、形容詞「上にある～」として使われる。最後の𐵄²nwa は動詞「上（上げる）」として使われて、古代漢語でよく見られる「上表」（大臣が皇帝に表を捧げること。西夏語は OV 語順であるが、「上表」は漢文からの借用語で、「𐵄²nwa」となる）という語の構成に使う。

2.2 時間「時」を表す𐵄¹tshjaa

2.2.1 他の「時」、特に𐵄¹dzjij による「時」

議論に入る前に、西夏語における一般的な「時」の表現を概観する。

西夏語には単なる「時」という時間を表す西夏文字「𐵄¹dzjij」があり、その一方、𐵄¹dzjij と類する意味で、「時間」を示す「𐵄²zjo」「𐵄¹zjij」「𐵄²bjij」がある。孫は、1. 「𐵄¹dzjij」は時間帯や時間点⁹を示し、漢語に訳すと「今時」「一時」で、この文字の字形と意味は「𐵄²nji」（日）と「𐵄¹tsewr」（節）によること、2. 𐵄¹zjij は現在あるいは未来の時間帯や時間点を示し、後置詞として（…の時）と訳され、いつも名詞の後に来て、字形と意味は「𐵄²ja」（善、好い）、「𐵄²khji」（列）によること、3. 𐵄²zjo は過去の時間帯や時間点を指し、字形と意味は「𐵄¹tsewr」（節）、「𐵄²jaar」（日）、「𐵄¹kjwi」（旧）によること、4. 𐵄²bjij は未来のある時と指し、字形と意味は「𐵄¹dzjij」と「𐵄」（至る）に関係する、と指摘した¹⁰。

まず、本考察に関係する𐵄¹dzjij の例文を示す。

⁸ 『灯要』は未公開の文献で、ロシア科学院東方文献研究所蔵から筆者がテキスト化した。全ての録文は今後、劉による論文で公開予定である。（ ）内は出典部分の何葉目、何行目を示す。『灯要』以外の例はそれぞれ出典を示す。

⁹ 中国語学では「時間点」と「時間帯」という概念と術語がある。前者は「特に(その時)という瞬間・短い時間を示す」、後者は「瞬間や短い時間ではなく、何かが行われている時間の中での、ある一部分の時間を示す」として区別される。この概念と術語で、西夏語の「時」も分析できる。

¹⁰ 孫（2023: 112-115）参照。

- (03) 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚
¹mjiij ¹dzjiij ²djir ²mjiij ¹zjir ¹dju ¹kji ²zow
 夢(見る) 時 外境 実有 P1 執着
 夢(を見ている) = (寝ている)時, 外境と実有に執着した. 『禅源諸詮集都序』(聶・孫 2018: 148)

孫は𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij は「時間帯・時間点」を表すと述べているものの、同氏の例文に時間「点」を表す例文はない。例文(03)のように、「時間帯」を表す例が多数である。更に『夏漢字典』『西夏文詞典』の例を調べたが、𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij で時間「点」を表す例は見つからなかった。

𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij をはじめとしていくつかの「時間詞」で時間を表す表現がある一方で、空間詞𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa によって「時間」を表すことがある。

2.2.2 は、時間詞の後に出現し、時間を意味する𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa の例を挙げる。

2.2.2 𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij + 𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa による「時」

𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij による「時」に加え、𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij + 𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa による「時」という表現が確認できる。荒川(2010: 164)に報告した例文に次のようなものがある。

- (04) 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚
¹ji ¹wee ¹njiij ¹mjor ¹sjwo ¹dzjiij ¹tshjaa ¹zjir ¹sjwo ²lew ¹mjiij
 衆生 心 現 起こす 時に 実に 起こす べき 無い
 衆生が心(の働き)を現に起こす時に、実に起こすべき(ところ)がない『般若心経注』(荒川 2010: 164)¹¹

この一節は『心経注』の内容で、ここで、空間を示す𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa は時間詞𐰇𐰏𐰚 ¹dzjiij と共起し「起こす時」を意味する。

「～する時」という表現で、名詞ではなく「動詞」に後続するという形式的な特徴もある。「時」という名詞に𐰇𐰏𐰚 ¹tshjaa が後続し「～する時に」という意味になる例は他にも確認できる。

- (05) 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚
²na ²thji ²sju ¹sjwi lə ¹dzjiij ¹tshjaa ¹sjja ²ljirr
 私 この ように 考える 時に 十 方
 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚 𐰇𐰏𐰚
¹rjur ¹tha ²zji ²wj ²sjja
 諸 仏 悉 P1 現れる
 私がこのように考える時、十方の諸佛が悉く現れた。『禅源諸詮集都序』(聶・孫 2018: 245)

この一節は『禅源諸詮集都序』の内容で、西夏文を漢文に訳すと「私がこのように考えると(すぐに)、十方の諸仏が悉く現れた」という意味である。「時間」を表す構成は例文(04)と同じである。

¹¹ 荒川(2010)のもともとの出典は荒川(2006: 118)であるが、一部和訳を修正した。

- (06)
- | | | | | | | | | |
|--------------------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|------------------|-------------------|---------------------|
| 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 |
| ¹ tshji | ¹ tja | ² gu | ² mjiij | ² tshji | ² dzjwo | ¹ ji | ¹ dzji | ¹ tshjaa |
| 漸 | TOP | 中 | 下 | 根 | 人 | である | | 時に |
| 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 |
| ¹ io | ¹ tsjiir | ¹ thjoo | ² wo | ² dziej | ² tsji | ¹ mji | ² njwi | |
| 円 | 法 | 妙 | 理 | 信 | 悟 | NEG | できる | |
- 漸(愚かな人)が中と下の慧根を持つ人である時、円法(円満の法)や妙理を信じて、
悟ることができない。『禅源諸詮集都序』(聶・孫 2018: 210)

この節も『禅源諸詮集都序』の内容で、「悟」と「漸」の違いについて説明する。西夏文を漢文に訳すと「漸は中と下の慧根を持つ人で、その時円満の法や妙理を信じて、悟ることができない」となる。

- (07)
- | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|-----------------|---------------------|-------------------|---------------------|------------------|-----------------|---------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 |
| ¹ dzju | ¹ ji | ² tshjiw | ¹ dzji | ¹ tshjaa | ² lew | ² ya | ¹ dzjwow | ² tha | ² gi | ² wji | ¹ wee |
| 昔 | 殷 | 紂 | | 時に | 小鳥 | から | 鳥 | 大 | 一 | P1 | 生む |
- 昔殷紂の時、小鳥から一羽の大鳥が生まれた。『徳行集』(韓 2021: I 卷 24)

上述したように、西夏語には四つの時間詞がある。ここで注意すべきなのは、それらの時間詞の中で、𐰇𐰆 ¹tshjaa が共起するのは常に 𐰇𐰆 ¹dzji ということである、他の三つの時間詞と共起する例が見つかからない。従って、2.2.3 では、時間を表す時の“𐰇𐰆”と“𐰇𐰆”の区別についても検討する。

2.2.3 𐰇𐰆 ¹tshjaa による「時」

2.2.2 のように「¹dzji と ¹tshjaa が共起し、時間を表す」表現があるにもかかわらず、𐰇𐰆 ¹tshjaa 単独で「時」を表す例も見られる。いくつかの例を挙げる。

- (08)
- | | | | | | | | | |
|-------------------|---------------------|-----------------|-------------------|-----------------|---------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 ¹² | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 | 𐰇𐰆 |
| ¹ sjwi | ¹ tshjiw | ¹ sj | ¹ kjiw | ² we | ¹ tshjaa | ¹ nji | ² dja | ² phji |
| 年 | 六 | 七 | 歳 | なる | 時 | 家 | P1 | 離れる |
- 年が六、七歳の(すぐに)、家を離れた(=出家した)。『灯要』(38: 11)

この一節も『灯要』の内容で、智常大師という人物が六、七歳の時になるやいなや(=年は幼いのに)、出家して、仏法を求めたということを述べている。元々空間を表す𐰇𐰆 ¹tshjaa が、年齢を述べる節の後に使われると、時間を表すようになる。聶の指摘通り、これは漢語の「時」と同じ意味である。

認知言語学では、このような「時空メタファー」はよく見られる文法的な現象で、空間方位を非空間概念に投射する隠喩である¹³と認められている。Haspelmath は通言語的研究によって、空間を表す標

¹² 但し、例文(08)の西夏文は解釈する際に、注意すべき点がある。古代の漢籍を読む時、「上宅」(尊敬語として相手の家を称する)という表現がよく見られる。そして、西夏語「𐰇𐰆」もよくセンテンスの語尾として使われる。つまり、節を区切った時、「七歳になる。上宅を離れる」と誤解しやすい。正しくは“𐰇𐰆 ¹tshjaa”は「𐰇𐰆」(なる)の後に付いて、「七歳になる時」を示す。

¹³ 藍(2011: 233-248) 参照。

識が時間を表す標識へ変化する現象は一般的であるという事実を指摘した¹⁴。このように、西夏語でも「空間⇒時間」のようにとらえなおす表現が見られる。

- (09) 𐵓 𐵑 … 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑
²hɯ ¹ɣwuu … ¹ku ²mjo ²gji ²ɣo ¹zji ¹tšhjaa
 答える 曰く … 後に 私 子 病 かかる 時に
 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑
²mji ¹ji ¹juu ¹ji² ²dji ¹sjwo ²ɣowr ²ji ¹mji
 NEG 及 見る 行く 然し 夜 全 寝る NEG
 答えて曰く「…後に私の子が病にかかった時（すぐには）、私はその子を見に行かなかったけれど、夜通し眠れなかった。」『新集慈考伝』(聶 2009: 115)

この文は『新集慈考伝』の内容で、前の文脈は、ある人が第五論(人名)に「君は私心がありますか？」と聞いた、それに対する返答である。第五論は「この前私の甥が病気にかかった、私は一晩で十回ぐらい見に行った。その後に私の子も病にかかった時私は見に行かなかったけれど、夜通し眠れなかった」（つまり、私心がない）と答えた。

この文は動詞𐵑「(病に)かかる」の後に直接𐵑 ¹tšhjaa を付けて「病気にかかった時、すぐには見に行かなかった」という意味を表す。

例文(08)と(09)によると、単独で𐵑 ¹tšhjaa を使って時間を表す時、¹dzji と ¹tšhjaa の組合せより、「すぐには」「するやいなや」というニュアンスが強いと思われる。以下も続く節の表す事態が直後に生じるという意味を持つ例文を挙げる。

- (10) 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑
¹sɔ ¹kjiw ²hji ¹džjwa ¹tšhjaa ¹mji ¹wja ¹mja ²nji ¹mji
 三 年 死ぬ 終る 時 女 父 母 など 女
 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑
¹sjwi ¹tsəj ²dja ¹wjo ¹nioow ¹pha ²zi ¹nji ²kiej
 年 若い P1 寡婦 で 異なる 嫁 心 欲しい
 (夫が)死んだ三年の後になるやいなや、女の父と母らは女の年が若くて、寡婦になったので、他のところに嫁がせて欲しかった。『新集慈考伝』(聶 2009: 107)

これも西夏文『新集慈孝伝』の一節で、ある漢朝の孝婦の物語である。この孝婦の夫は戦争で亡くなった。三年の後（三年が経つやいなや）、孝婦の両親は娘がまだ若いから、他人に嫁がせて欲しいということを述べた。この例文の𐵑 ¹tšhjaa も時間を表す理解すると、文意は通じる。

- (11) 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑 𐵑
¹sjwi ¹jji ¹phji ²sjji ²dji ¹phji ¹tšhjaa ²rewr ²jji ¹džji ²wja
 舜 CM 使う 倉庫 繕う 命じる 時 階段 壊す 火 つける

¹⁴ Haspelmath (1997: 140) 参照。

𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽
²wji ²khja ¹dew ¹phji ¹tshjaa ²o ¹nioow ²ηwu ¹tji ²wji
 なる 井戸 掘る 命じる 時 入る 後 内 満 なる

舜を使って、倉庫を繕うよう命じるやいなや、階段を壊し、火をつけた。井戸を掘るよう命じるやいなや、(舜が)井戸に入った後、井戸を埋め込んだ。『新集慈孝伝』(聶 2009: 128)

この節も西夏文『新集慈孝伝』の一節で、舜の物語である。前後の文脈は、舜の継母と弟は舜を恨んでいた。継母は、舜に命じて倉庫を修理するとすぐに、わざと階段を壊し、火をつけた。井戸を掘るよう命じるとすぐに、井戸に(石など)を埋め込んだ。日々、舜を殺したかったという文である。

(12) 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽 𐰇𐰺𐰽
 ·ja ¹na ¹la ²rjir ¹tshjaa ²dziā ²tsijj ¹sjiw ²jijw ¹swo
 阿 難 記す 得る 時 菩薩 新 疑念 起こす

阿難が記を得る上で、新たな菩薩が疑念を起こす。『法華経』卷四仏図(荒川 2018:

77)¹⁵

この例は『法華経』の内容である。動詞「得る」の後に「𐰇𐰺𐰽」が来て、「記を得る時」という意味を表す。

以上の五つの例文は「動詞+𐰇𐰺𐰽」の形で時間を表す例である。前の動作が終わったら、次の事柄が発生し、日本語の「～するやいなや」と近いと思われる。例文(04)から(07)の“𐰇𐰺𐰽”という使い方と比べると、単独の場合は「時間点」を表す傾向が強く、複合語化された場合は「時間帯」を示す傾向があると思われる。

2.2.4 小結

「時間」を表す各形式の意味と使う頻度をまとめると以下の表のようになる¹⁶。

形式	時間概念	意味	頻度
¹ dzijj	時間帯	～する時	多い
¹ dzijj+ ¹ tshjaa	時間帯	～する時	少ない
¹ tshjaa	時間点	～するやいなや	少ない

表で示すように、「時間帯」を意味する形式が二つあり、それぞれ¹dzijj と¹dzijj+¹tshjaa である。「時間点」を表す形式は¹tshjaa しかない。三つの形式を比較して、西夏語の「時間」を示す形式の文法化のプロセスは～¹dzijj→～¹dzijj+¹tshjaa→～¹tshjaa であると現時点では推測する。その過程は、¹tshjaa「上」にはもともと「時」を表す用法がなかったが¹dzijj「時」の後ろに生起するようになり、「時間帯」を表す意味も具えて、その後、¹dzijj「時」が脱落した形式が生じ、単独で「時間点」を表すようになった。文法化するプロセスにつれて、意味も「時間帯」から「時間点」へ変化したと推測する。

2.3 因果

¹⁵ 荒川(2018: 77)参照、仏図中段の文2つ目。

¹⁶ 出典『灯要』『新集慈孝伝』『禪源諸詮集都序』に基づく、三つの使い方の出現頻度はそれぞれ¹dzijj は34回、¹dzijj+¹tshjaa は5回、¹tshjaa は22回である。ただし22回のうち20回は『新集慈孝伝』で、この文献に集中している。

𐵑	𐵒	𐵓	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘 ¹⁸	𐵙
² ·a	¹ džjoww	¹ tshjaa	¹ tšju	¹ zji	¹ gijj	² njj	¹ sew	² wji
P1	広がる	ので	朱	氏	倍	深い	嫉妬	なる

祥の父が亡くなった後、(祥の)良い名は次第に広がったので、朱氏の嫉妬は(前より)倍になった。『新集慈考伝』(聶 2009: 135)

この節は西夏文『新集慈考伝』の内容で、王祥という人物の物語である。継母としての朱氏は王祥のことが好きではない。祥の父が死んだ後、祥の良い名はだんだん広がっていったので、朱氏の嫉妬は前より倍深くなっていった。名が「次第に」広がったので、時間的な「～するやいなや」「直後に…」とは考えにくい。このセンテンスで𐵓 ¹tshjaa を使って、嫉妬が深くなる「原因」を示すと考えられる。

(16)	𐵑	𐵒	𐵓	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘	𐵙	𐵚
	¹ thja	² tjo	¹ sjj	² wa	¹ rjir	² zji	¹ lhjo	¹ sjwi	² lu	² we
	彼	弟	昔	何	得る	皆	失う		貧しい	なる
	𐵓	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘	𐵙	𐵚	𐵛	
	<u>¹tshjaa</u>	¹ .jjj	² war	² .jj	¹ djii	² newr	¹ džjow	² rjir	¹ khjow	
	ので	自ら	財	また	分ける	数	回	P1	与える	

彼の弟は昔得たものを全部失い、貧しくなったので、(ト式は)また自らの財産を分けて数回にわたってあげた。『新集慈考伝』(聶 2009: 131)

この節も『新集慈考伝』の内容で、ト式という人物が弟と分家して、後に、その弟は貧乏になったので、ト式はまた自らの財産を分けて、数回にわたって弟にあげた。これも時間的な「直後」ではなく原因を表すと考えられる。

認知言語学において、特定の環境で空間と時間を表す単語は文法化され、「因果関係、譲歩関係」などの標識になる現象がよく見られる¹⁹。つまり、時空メタファーを経た𐵓 ¹tshjaa も、更に文法化して、因果関係を意味する標識になったと考えることができる。

チベット・ビルマ語派の研究によると、因果関係の標識は、時間を意味する、或いは順接を表す「それで」「～したら」に関係することがある。例えば、①ツァイワ語の因果関係標識 ⁵⁵lui と ⁵¹mu は、「これから」「後ほど」という時間を表す意味と「だからこそ」「～だから」という原因を表す意味を備えている。②ジンポー語の仮説標識 ³¹jan(…すれば)の語源は品詞 ³¹jan(…の時)であると考えられている²⁰。以下は因果関係の範囲に属する例文である。

(17)	𐵑	𐵒	𐵓	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘	𐵙	𐵚	𐵛	
	¹ xju	¹ kijj	¹ tja	¹ kü	² xä	¹ šjij	² džjwo	² ɣwu	¹ jij	² nji	² gji	² džjwo
	許	荊	TOP	後	漢	朝	人	である	自分	甥	ある	人
	𐵑	𐵓	𐵔	𐵕	𐵖	𐵗	𐵘	𐵙	𐵚	𐵛	𐵜	𐵝
	¹ sja	<u>¹tšhjaa</u>	¹ nioow	¹ ·o	² nji	² džju	² njj	² zow	² ɣwu	¹ ljwjj	¹ ta	² ljij
	殺す	ので	後	主人	ら	武器	持つ	で	恨み	取り	来る	

¹⁸ 原文の図録を確認したところ、“𐵘”は“𐵙”の誤字である可能性が高い。

¹⁹ Heine&Kuteva (2002: 308) 参照。

²⁰ これは、因果関係と順接関係の間に明確な違いがないということの根拠の一つである。元々、因果関係も順接の範囲に属すると考えられる。范 (2011: 162) 参照。

許荊は後漢の人である。自分の甥がある人を殺したので、後に、(ある人の)主人は武器を持って仇を討ちに來た。『新集慈考伝』(聶 2009: 119)

この内容も『新集慈考伝』の出典である。後漢の時、許荊という人物がいた。彼の甥はある人を殺したので、後に殺された人の主人が武器を持って仇を討ちに來た。ここも𐵑 ¹tshjaa により、時間というより原因を示していると考えられる。

(18)	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑
	² wjij	² .ju	² .jow	² sjā	² ŋa	² nji	¹ tsjiir	² .a	¹ bji
	叔父	常	褒める	曰く	私	甥	官位	P1	昇進する
	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑				
	¹ gjij	¹ dzji	¹ khji	¹ nja	¹ lhu				
	倍		恭敬	P1	増える				

叔父は常に褒めて曰く「私の甥は官位が昇進したので、(私への)倍して恭敬が増えた」
『新集慈考伝』(聶 2009: 121)

この一節も『新集慈考伝』の内容で、柳仲郢という人は自分の叔父を父上のように尊敬していた。街で叔父に出会う時、馬から降りて立っていた。叔父は曰く「私の甥は官位が昇進したので、(私に対する)尊敬が一層増えた」と褒めた。この𐵑 ¹tshjaa は原因として解釈するのが適当と考えられる。

(19)	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑	𐵑
	² diow	¹ gieej	¹ mji	¹ tshjaa	² ŋwu	¹ lwu	² ŋwu	² tji
	姉	桜	聞く	ので	泣く	で	P1	来る

姉の桜が(弟の死を)聞いたので、泣きながら來た。『新集慈考伝』(聶 2009: 144)

この文は聶政という人物の物語である。聶政は賞金をもらうために人を殺した。政府の役人に捕まった時、姉を護るため、自分の顔を傷つけて自殺した。聶政の顔がめちゃくちゃになっていたため、市街に死体を置いても、誰も分からなかった。姉の桜はこの事を聞いて、泣きながら來た。この文でも因果関係を示すと考えられる。

𐵑 ¹tshjaa と𐵑 ¹nioow の使い分けの差は、現時点では不明である。ただし、𐵑 ¹tshjaa についてはおそらく文法化が進んだ表現であると考えられる。他にこのような文法化が進んだという事例が報告されている。例えば西夏語の𐵑 ²kha は𐵑 ¹tshjaa と同じ空間を示すが、吳宇は西夏語の空間詞𐵑 ²kha は時空メタファーの過程を通じて、「～している間」としての機能を帯びていると指摘した²¹。これも本考察の傍証となるかもしれない。

3. まとめ

以上、西夏文献における𐵑 ¹tshjaa の各種の意味について分析した。以上の例文をまとめると次の表のようになる。

²¹ それぞれの例文は吳宇の論文「西夏語方位詞 ²kha 在遞進句中的用法」(forthcoming)を参照。

	意味	形式	類似表現との相違
空間	～の上	名詞の後	高低ではなく位置として「上」
時間	～した時（～するやいなや）	動詞の後	「直後，すぐ」（時間点）
		「時」の後	時間帯
因果	～したので，～すると	動詞の後	原因・理由（綴 ¹ niow との差不明）

林英津は「西夏文の𐽄 ¹tshjaa は𐽄（ところ，場所）の意味を持つ，そして，𐽄（おいて，に）とペ
アになる例もある．これは𐽄 ¹tshjaa が品詞から格助詞になる傾向を示す根拠である」と指摘した²²．本
考察で𐽄 ¹tshjaa は文法化が進と，動詞の後に位置するように形式にも変化が生じることが明らかにな
った．

3.2 今後の課題

今後検討する余地がある𐽄 ¹tshjaa について述べる．

以上の例文が示すように，𐽄 ¹tshjaa を原因標識として扱う時，一般に「形容詞＋𐽄(小節)」の後に
来る．しかし，西夏文文献には，「名詞」の後に来る形式で，「原因」として解釈できる例文もあ
る．

- (20)
- | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|------------------|------------------|------------------|---------------------|--------------------|---------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|------------------|
| 𐽄 | 𐽄 | ... | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 ²³ | 𐽄 | 𐽄 |
| ² dzjij | ² da | ... | ² lji | ¹ mə | ² dzjwo | ¹ tja | ¹ zji | ¹ sew | ¹ bja | ² niow | ¹ bjū |
| 師 | 曰く | ... | 西 | 天 | 人 | TOP | | 嫉妬 | | 凶悪 | で |
| 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 | 𐽄 |
| ² nji | ² nji | ¹ jij | ¹ ka | ¹ tshjaa | ¹ lja | ¹ tsjiir | ² nji | ² ljj | ¹ kji | ¹ tji | ² ji |
- あなた 達 の 命(の) ため 来る 法 聞く 来る P1 NEG 言う
師は曰く「西天の人は嫉妬深く，凶悪で，あなた達の命のため(殺すため)来るでしょう，（あな
た達が)法を聞くために来た(と(西天の人)に言わない(で)」『五類法界』(Solonin 2023:209, 231)

この一文は西夏文『五類法界』の内容で，ここで𐽄 ¹tshjaa を使って，原因を表すと考えられる²⁴．即
ち，「西天の人は嫉妬し，凶悪で，命のために来る」という意味を示す．

しかし，ここで注意すべきなのは，劉が資料とした西夏文文献²⁵を確認すると，このような使い方は
『五類法界』の一例しかない．これはチベット文から訳された西夏文の特徴なのか，或いは「当て字」
なのか，引き続き分析する余地がある．

また，前述のように𐽄 ¹tshjaa の他に，西夏語の𐽄 ¹kha も「時空メタファー」を経て，（文と文の）
接続詞として使われるということが研究者によって指摘された(呉 forthcoming)．本研究ノートは𐽄
¹tshjaa のみを考察したが，西夏語において，他の空間を表す「位置詞」もこの様な文法化の過程を経
ているのか，もし同じ文法化を経て，順接や因果関係の標識として使われると，それぞれに区別があ

²² 林 (1993: 677-711) 参照．

²³ 原文の図版 (Solonin 先生より貸与) を確認したところ，“𐽄”ではなく“𐽄”だったため，字形と音を修正し
た．

²⁴ この句の𐽄 ¹tshjaa について，Solonin も𐽄 ¹tshjaa は「何々のため，英語の for と同じ」と指摘している．『西夏
語語法導論』Solonin (forthcoming) を参照．

²⁵ 西夏文『観心論』『灯録』『新集慈孝伝』『六祖壇経』など．

るのか、など方位詞の文法化について、これから様々な未知の課題が残されている。

文法要素略号

CM: 格標識, NEG: 否定接頭辞, P1: 接頭辞 1 (完了態などを表す), TOP: 主題標識

参考文献

和文・中文

- 荒川慎太郎. 2006. 「ロシア所蔵西夏語訳『般若心経註』の研究」『中央アジア古文献の言語学的・文献学的研究』(Contribution to the studies of Eurasian languages series, 10), 95-156+図版 8.
- _____. 2010. 「西夏語の格標識について」澤田英夫(編)『チベット＝ビルマ系言語の文法現象 1: 格とその周辺』, 156-164. 東京: 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所.
- _____. 2014. 「西夏文『金剛經典纂』録文訳注」『西夏文金剛經の研究』, 162-169. 京都: 松香堂.
- _____. 2018. 『プリンストン大学図書館所蔵西夏文妙法蓮華經一写真版及びテキストの研究』東京: 創価学会・東洋哲学研究所.
- 范麗君. 2011. 『漢藏語因果類複句研究』中央民族大学博士論文.
- 韓小忙. 2021. 『西夏文詞典』北京: 中国社会科学出版社.
- 藍純. 2011. 「從認知角度看漢語的空間隱喻」『隱喻與轉喻研究』, 233-248. 上海: 上海外語教育出版社.
- 李範文(編). 2008. 『夏漢字典』北京: 中国社会科学出版社.
- 林英津. 1993. 「西夏語具有空間意義的語詞」『中央研究院歷史語言研究所集刊』62(4). 677-711.
- 西田龍雄. 1989. 「西夏語」『言語学大辞典』中巻(亀井孝・河野六郎・千野栄一編著) 408-429, 三省堂 {西田 2012 に修訂再録}.
- _____. 2012. 『西夏語研究新論』松香堂.
- 聶鴻音. 2009. 『西夏文「新集慈考伝」研究』銀川: 黄河出版传媒集团. 寧夏人民出版社.
- _____. 2021. 『西夏文字和語言研究導論』上海: 上海古籍出版社.
- 聶鴻音, 孫伯君. 2018. 『西夏訳華嚴宗著作研究』銀川: 寧夏人民出版社. 北京: 中華書局.
- 史金波, 白浜, 黄振華. 1983. 『文海研究』北京: 中国社会科学出版社.
- 索羅寧(Solonin, Kirill Ju.). 2023. 『大鵬展翅』上海: 上海古籍出版社.
- 索羅寧(Solonin, Kirill Ju.). 『西夏語語法導論』(forthcoming).
- 孫伯君. 2010. 「簡論西夏文^hdji²⁻³³的語法功能」『西夏学』2010 年 9 月. 126-132.
- 孫伯君. 2023. 「西夏語時義時間詞及其語法化」『民族語文』2023 年 5 期. 109-120.
- 吳宇. 「西夏語方位詞 ^hkha¹ 在遞進句中的用法」(forthcoming).

英文

- Kepping, Ksenia.B. 1979. *Sun-tzu in Tangut Translation*. Nauka: (In Russian) Moscow.
- Haspelmath, Martin. 1997. *From Space to Time Temporal Adverbials in the World's Languages*. München - Newcastle: Lincom Europa.
- Heine, Bernd&Kuteva, Tania 2002. *World Lexicon of Grammaticalization*. Cambridge: Cambridge University Press.

【謝辞】

本研究は，東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同利用・共同研究課題「アジア文字研究基盤の構築(3)—文字研究術語集の構築— (jrp000283)」，国家社会科学基金項目『西夏文「道果法」文献研究』(項目番号：23CYY034)の成果の一部である．なお，本稿では西夏文字フォントに「Copyright TH-fonts」を使用している．

執筆者連絡先：1001235@neuq.edu.cn & arakawa@tufs.ac.jp

原稿受理：2024 年 12 月 9 日